

卸売業

回答企業29企業

概況

～業況判断D I 値 やや改善で推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比6.9ポイント上昇の▲27.6とやや改善したが、前回調査予想値(0.0)を大きく下回る結果となった。項目別では、売上・受注で10.3ポイント上昇の▲17.3、売上数量は17.3ポイント低下の▲48.3、利益でも13.8ポイント低下の▲34.5となった。

さくら祭りやゴールデンウィークの人流増による消費拡大に期待感あったが、仕入・原材料価格や燃料費・電気代の高騰もあり業況は低迷した。

分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

鮮魚卸売は漁獲高の減少や大手スーパーの倒産等の影響等を受け、売上高・利益とも減少傾向にある。

建設資材卸売業は、資材高騰が続いており売上高も減少傾向となり、利益確保が難しい状況。

主力商品であるりんごについては、品薄から仕入価格、販売価格とも高値で推移。売上高は減少しているが、利益確保が見込まれているものの、運賃や資材高騰の影響もあり減少傾向。

来期の見通し

～業況判断D I 値 悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比17.2ポイント低下の▲44.8と悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で13.7ポイント低下の▲31.0、売上数量は3.5ポイント上昇の▲44.8、利益でも13.8ポイント低下の▲48.3と悪化の見込みとなった。

食品・アルコール類は夏祭りやイベントへの期待感もあるが、総体的には各業種とも業況は厳しい見通しとなる。

